

★春夏野菜栽培のポイント★

1. 春播ける野菜の種類

- * 果菜類 きゅうり、なす、トマト、ピーマン、すいか、メロン
 カボチャ、オクラ
- * 根菜類 ダイコン（時無し）、サツマイモ、サトイモ、ゴボウ
 ニンジン
- * 葉菜類 キャベツ（耐暑性品種）、ホウレンソウ、小松菜、ねぎ
- * 豆類 インゲンマメ、エダマメ、ラッカセイ

2. 植付床の準備は早めに！

	堆肥	苦土石灰	化成肥料	ヨウリン
1アール（100㎡）当り	300kg	10kg	10kg	3kg
1坪（3.3㎡）当り	10kg	0.3kg	0.3kg	0.91kg

（1）元肥の量の目安

- 苦土石灰の施用量 1㎡当たり2握り
- 化成肥料 1㎡当たり2握り半

3. 畦たては南北畦が基本

- マルチ（透明、グリーン、黒、シルバー）の効用
- 敷きわら：乾燥防止、雑草防止、病害防止

4. 果菜類苗の植え付けには、温度確保が大切

- （1）夜間最低気温は、10℃必要（4月下旬～5月上旬）です。
- （2）地温は、13℃以上必要なので、盛り土を行い、浅植えにします。
- （3）植付時の灌水は、地温を下げるので、定植前日に十分灌水しておきます。
- （4）灌水は、晴天の午前に行います。
- （5）敷きわら、マルチは適期に行います。

5. 果菜類の多収・長期収穫には施肥と整枝が大切

- （1）堆肥は、多めに施し、元肥は少なめにします。
- （2）追肥は、少量ずつ施し、多肥や肥切れにならないようにします。
- （3）整枝は、枝が込み合わないよう早めにいきます。整枝の目的は、着果を早め、着果数を多くし、病害虫の回避、予防、日光によくあてることです。

6. 生育初期の病害虫防除が大切

- 害虫は、早期発見、早期防除を基本に初発生防除を徹底し、病害は初発前の予防が基本となります。